

月別概況（平成26年）青果

1月

野菜

1kg当たり平均単価 216円

年明けの好天で生育が回復した品目が多く年内から野菜の高値相場が続いたため全般的に荷動き悪かった。

果実

1kg当たり平均単価 292円

果実全体に入荷増の単価高で好調な販売で推移。ただ、苺については昨年を大きく下回る入荷で終了。

2月

野菜

1kg当たり平均単価 210円

上旬～中旬に関東を中心に記録的な大雪があり被害や収穫作業の遅れなどで入荷量が不安定となり相場高となった。

果実

1kg当たり平均単価 274円

みかん、りんご入荷増高値推移で好調な販売。しかし雑柑、苺については売れない販売が続く。

3月

野菜

1kg当たり平均単価 219円

昨年より一部価格の安い品目もあるが、2月の記録的な積雪もあり全般的に単価高で推移した。

果実

1kg当たり平均単価 283円

全般に全旬を通じ気温の差によって好調、不調の明暗がはっきりした月であった。特にみかん、りんご等は堅調に推移した。

4月

野菜

1kg当たり平均単価 188円

野菜全般に増税直後の上旬は荷動き悪かったが中旬以降から順調に回復した。

果実

1kg当たり平均単価 336円

平成25年度貯蔵物（みかん、甘夏、りんご）に関しては残量少なく入荷減。主力の苺に関しては微増であるものの堅調推移。全般には入荷減の単価高で終了。

5月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 0 1 円

昨年に比べ単価は前年を上回る水準となり、野菜全般に落ち着いた販売動向であった。

果実

1 k g 当たり平均単価 3 7 4 円

施設栽培の品物（ハウスみかん、デラ、サクランボ、桃）は大幅な入荷減で推移。また西瓜、りんご等については前年並の数量で推移。全般には入荷減の兼ね合い、また増税等により単価高で終了。

6月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 2 3 円

天候不順の影響を受け、計画通り出荷できない品目が多くあり、単価高で推移した。

果実

1 k g 当たり平均単価 3 3 7 円

重油の高騰により施設物の減少。天候等により遅延気味で推移したことで全般的には入荷減で終了。しかし、単価面については食味良く単価高で推移した。

7月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 1 2 円

全般的に潤沢な入荷となり昨年が堅調相場であった事もあり単価の落ち込みが目立ち安値で推移した。

果実

1 k g 当たり平均単価 3 1 4 円

果実全体に入荷減の高値推移であった。特にりんごのフジについては極端に少なく、また西瓜も少なく売れない単価の安い月となった。

8月

野菜

1 k g 当たり平均単価 2 6 2 円

台風11号の影響により主力品目で減少が目立ち相場は全般的に高値で推移した。

果実

1 k g 当たり平均単価 3 4 1 円

台風の影響、また長雨等により入荷少なく厳しい販売が続いた。また8月は営業日も昨年より1日少なく低調な販売となった。

9月

野菜

1 k g 当たり平均単価 255円

天候不順の影響によりレタス、白菜、キャベツが高値で推移。9月としてはここ5年間で最も高い水準。

果実

1 k g 当たり平均単価 311円

8月の台風等の影響により降雨量多くまた日照不足も重なり品物によっては食味悪く若干苦しい販売となった。全般には入荷増の単価はほぼ前年並みで推移した。

10月

野菜

1 k g 当たり平均単価 196円

夏秋産地と秋冬産地の供給時期が重なり全般の供給量が潤沢にあり、台風上陸で消費地の荷動きが鈍かった。

果実

1 k g 当たり平均単価 208円

天候等の影響にも左右され、また食味の点でも懸念されたことから明暗がはっきりした販売であり全般には入荷増の単価安で推移。

11月

野菜

1 k g 当たり平均単価 189円

レンコン、南瓜は生育不良で単価高であるが野菜全般的に潤沢入荷で安値低迷した。

果実

1 k g 当たり平均単価 200円

果実全体に8月の曇天長雨が影響し品質低下、糖度不足により厳しい販売であった。

12月

野菜

1 k g 当たり平均単価 232円

上旬は暖冬により厳しい販売状態であったが中旬以降全国的に寒波、積雪等の影響で全般的に価格は上伸した。

果実

1 k g 当たり平均単価 279円

果実全体に入荷増の単価安推移。特に莓については中～下旬入荷減少により入荷減単価高。